

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | 多機能型事業所SIRUSI 宮崎 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 2月 2日 | | ～ 2026年 2月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 14名 | (回答者数) 14名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 2月 2日 | | ～ 2026年 2月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4名 | (回答者数) 4名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 当事業所では、子どもたち一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を大切に、「できないこと」を無理に克服させるのではなく、活動の中で楽しみながら「できた」「やってみよう」という気持ちにつながっていく支援を行っています。 | 子どもたちが安心して活動に参加できるよう、視覚的な支援(絵カード・スケジュール提示など)を活用し、見通しを持って行動できる環境づくりを意識しています。 | 支援の質を高めるため、子ども一人ひとりの状況に応じた支援方法を検討しています。活動内容についても定期的に振り返りを行い、子どもたちの興味や発達段階に合った活動となるよう見直しを行っています。また、外出活動や生活体験の機会を増やすことで、実際の社会生活につながる経験を積めるよう取り組んでいます。 |
| 2 | また、外出活動や体験活動を積極的に取り入れ、実際の生活場面の中で社会性やコミュニケーション力を育てることを大切にしています。言語面の支援にも力を入れており、絵カードや遊びを通した言葉のやり取りなど、子どもが自然に言葉を使いたくなる環境づくりを意識しています。 | 活動内容については、遊びの要素を取り入れながら子どもたちが主体的に参加できるよう工夫し、「やらされる活動」ではなく「やってみよう活動」になるよう心がけています。また、保護者とのコミュニケーションを大切に、日々の様子や成長の姿を丁寧に共有することで、家庭と連携した支援を行うよう意識しています。 | |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 子ども一人ひとりに丁寧に関わることを大切にしている一方で、支援内容や記録の整理、支援の共有が十分に体系化されていない部分があることが課題です。また、年齢や発達段階の幅がある中で、すべての子どもにとって適切な活動設定を行うことに難しさを感じる場面もあります。 | 支援に関する情報共有や記録の整理について、統一した方法が十分に整備されていないことが要因の一つと考えられます。また、日々の支援や活動準備に時間を要するため、振り返りや検討の時間を十分に確保することが難しいことも課題の要因となっています。 | 支援記録や情報共有の方法を整理し、職員間で統一した支援が行える体制づくりを進めていく必要があります。定期的にケース検討や振り返りの時間を設けることで、支援の質の向上につなげていきたいと考えています。活動内容についても継続的に見直しを行い、子どもたちが楽しみながら成長できる環境づくりをより一層充実させていきます。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |